

富貴紙製品の販売を始めました

富貴紙を知って使って、いろいろな活用を考えてみませんか？
問合先 音別町行政センター地域振興課地域振興担当 (☎0154762231)

富貴紙は、音別地域の特産品であるフキの皮を原料とした日本唯一の和紙です。この富貴紙を使った、「扇子」と「名刺の台紙」の販売が始まりました。富貴紙の原紙販売も再開されています。

富貴紙扇子について

富貴紙扇子は、68 (昭和43) 年に創業した京都の老舗で、古くから京扇子を製作している舞扇堂の作品です。舞扇堂は、伝統の手法を基に時代の感性と匠の心と技を生かし、四季折々に息づく新しい京扇子を製作している工房です。

名刺の台紙と原紙について

富貴紙は、91 (平成3) 年に旧音別町振興公社により製造されていましたが、公社の解散により06 (平成18) 年以降、販売が中断されていました。その後、富貴紙は音別の特産品として見直され、17 (平成29) 年8月から販売が再開されました。今年5月には、名刺の台紙も販売が始まりました。

富貴紙の現在とこれから

市では、富貴紙の紙漉き技術の継承と向上のため、音別地域で3人が製作に携わっています。また、毎年音別小学校6年生の児童を対象に、富貴紙漉き体験講習を行っている他、市内のコミュニティセンターと書店で市民の富貴紙の体験講習会も開催して、普及と知名度の向上を図っています。19 (平成31) 年1月に鈎路市で開催される第74回冬季国体の表彰式では、表彰状に富貴紙の原紙を使うなど、全国に富貴紙を広く発信していく予定です。

富貴紙製品について

富貴紙製品は、左記の両店舗で購入することができます。富貴紙原紙はA3判で500円と800円の2種類です。

- コーチャンフォー鈎路店 (春採7・1・24 ☎46・7788)
- 株式会社 山一佐藤紙店 (北大通8・1 ☎22・1311)



商品名 富貴紙扇子 (扇子、扇子袋、紙箱入り)
価格 5,400円 (税込み)



商品名 富貴紙名刺 (50枚入り1パック)
価格 2,160円 (税込み)



7月7日(土)～8月26日(日)

午前10時～午後5時 ※月曜日休館 (7月16日(月)は特別開館)

観覧料 1,100 (900) 円、高校・大学生600 (400) 円、中学生300 (200) 円
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方 (1人まで) は無料。
※ () 内は前売券および10人以上の団体料金。

棟方志功 (1903～1975) は、^{やまとが} 倭画や書、油絵なども描き、棟方自身それら全てを「^{げいこう} 藝業」と呼び、多くの作品を残していますが、表現の広がりや戦時疎開のため6年8か月を過ごした富山県福光町 (現・南砺市) での制作があったことは、あまり知られていません。本展は、棟方の制作活動の中で、最も充実していたといわれる福光時代に焦点を当て、名前を知られるきっかけとなった「^{にょんかんせ おんぼんがかん} 女人観世音板画巻」などの版画から、書簡に至る棟方の「^{やまとが} 藝業」をご覧いただきます。

関連事業

- 特別講演会「棟方志功の福光時代」
日時 7月7日(土) 午前11時～正午 (予定) 会場 市立美術館ロビー
講師 石井頼子氏 (棟方志功研究家)
聴講無料 ※要展覧会観覧券、または半券
- 学芸員によるギャラリートーク
日時 7月14日(土)、28日(土)、8月11日(土)、18日(土) いずれも午前11時から約30分
集合 市立美術館ロビー
参加無料 ※要観覧料

鈎路市立美術館
まなぼとと幣舞3階
(幣舞町4-28 ☎42-6116)

棟方志功の福光時代展

信仰と美の出会い

むなかたしこう



〈灼明炎大不動尊御像〉倭画 昭和22年 個人蔵



〈二菩薩釈迦十大弟子〉墨摺板画 昭和14年・二菩薩 (改刻) 昭和23年 個人蔵